

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月14日

【四半期会計期間】 第58期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 ヤマト・インダストリー株式会社

【英訳名】 YAMATO INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩本 宣 頼

【本店の所在の場所】 埼玉県川越市大字古谷上4 2 7 4 番地

【電話番号】 049(235)1234(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 茂 木 久 男

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区上野三丁目9番1号

【電話番号】 03(3834)3111 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 茂 木 久 男

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第1四半期 連結累計期間	第58期 第1四半期 連結累計期間	第57期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	3,275,352	3,344,325	14,240,593
経常利益又は経常損失() (千円)	35,949	10,213	52,483
当期純利益又は 四半期純損失() (千円)	47,190	27,205	22,255
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	43,710	4,916	22,413
純資産額 (千円)	1,420,998	1,492,040	1,487,123
総資産額 (千円)	6,018,801	6,068,499	6,471,974
1株当たり当期純利益金額又は 四半期純損失金額() (円)	4.69	2.70	2.21
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	23.6	24.6	23.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより緩やかな回復基調が見られるものの、欧州債務危機を発端とする世界経済の停滞や長期化する円高など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当グループにおきましては、収益性の向上を目指し高付加価値製品の受注拡大に努めるとともに、原価低減および経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は33億44百万円（前年同四半期32億75百万円）、営業利益は0百万円（前年同四半期9百万円の損失）、経常損失は10百万円（前年同四半期35百万円の損失）、四半期純損失は27百万円（前年同四半期47百万円の損失）と前年同四半期と比べ改善となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

（合成樹脂成形関連事業）

国内におきましては、当社の主力であるOA機器部品の受注が減少し厳しい状況が続いたものの、海外において、主力のOA機器部品の受注が順調に推移し増収となり、この結果、売上高は29億63百万円（前年同四半期28億15百万円）、営業利益は6百万円（前年同四半期5百万円）となりました。

（物流機器関連事業）

競合激化の中、前期に引続き収益の確保に注力してまいりましたが、前年同四半期に比べ減収となり、この結果、売上高は3億80百万円（前年同四半期4億59百万円）、営業損失は6百万円（前年同四半期15百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

資産合計は60億68百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億3百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1億74百万円減少、受取手形及び売掛金が1億11百万円減少、商品及び製品、仕掛品等のたな卸資産が64百万円減少、投資有価証券が55百万円減少したことによるものです。

（負債）

負債合計は45億76百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億8百万円減少しました。これは主に、流動負債のその他が69百万円増加し、支払手形及び買掛金が3億58百万円減少、短期借入金が51百万円減少、長期借入金が62百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は14億92百万円となり、前連結会計年度末と比べ4百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の減少27百万円、為替換算調整勘定の増加34百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,960,000
計	22,960,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,171,797	10,171,797	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であります。
計	10,171,797	10,171,797		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月30日		10,171,797		927,623		785,132

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 120,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,037,000	10,037	
単元未満株式	普通株式 14,797		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	10,171,797		
総株主の議決権		10,037	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式 67株が含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ヤマト・インダストリー 株式会社	埼玉県川越市大字古谷上 4 2 7 4 番地	120,000		120,000	1.18
計		120,000		120,000	1.18

2 【役員状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人不二会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	914,151	739,917
受取手形及び売掛金	1, 2 2,527,938	1, 2 2,416,190
商品及び製品	471,492	426,148
仕掛品	143,409	146,268
原材料及び貯蔵品	324,062	302,500
その他	216,277	210,516
貸倒引当金	38	33
流動資産合計	4,597,293	4,241,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	333,956	329,684
機械装置及び運搬具(純額)	304,781	309,471
土地	894,119	894,119
リース資産(純額)	19,655	17,760
建設仮勘定	1,796	583
その他(純額)	32,286	53,397
有形固定資産合計	1,586,596	1,605,017
無形固定資産		
その他	22,796	23,388
無形固定資産合計	22,796	23,388
投資その他の資産		
投資有価証券	117,503	61,543
その他	152,750	140,907
貸倒引当金	4,966	3,866
投資その他の資産合計	265,287	198,583
固定資産合計	1,874,680	1,826,990
資産合計	6,471,974	6,068,499
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 2,446,457	2 2,087,751
短期借入金	470,298	418,621
未払法人税等	36,288	32,025
その他	421,453	491,229
流動負債合計	3,374,496	3,029,629
固定負債		
長期借入金	1,423,064	1,360,318
退職給付引当金	137,590	140,440
その他	49,699	46,071

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
固定負債合計	1,610,353	1,546,829
負債合計	4,984,850	4,576,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	785,172	785,172
利益剰余金	104,440	131,646
自己株式	22,562	22,562
株主資本合計	1,585,793	1,558,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,837	5,831
繰延ヘッジ損益	-	178
為替換算調整勘定	94,832	60,536
その他の包括利益累計額合計	98,669	66,547
純資産合計	1,487,123	1,492,040
負債純資産合計	6,471,974	6,068,499

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,275,352	3,344,325
売上原価	2,914,097	2,976,505
売上総利益	361,254	367,820
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	107,109	97,714
給料及び賞与	120,045	111,849
退職給付費用	11,100	8,690
貸倒引当金繰入額又は戻入額()	6,396	5
その他	139,317	149,551
販売費及び一般管理費合計	371,175	367,800
営業利益又は営業損失()	9,920	19
営業外収益		
受取利息	32	70
受取配当金	142	143
為替差益	-	1,039
受取賃貸料	1,636	395
保険解約返戻金	-	5,193
その他	3,559	1,127
営業外収益合計	5,371	7,969
営業外費用		
支払利息	15,565	13,213
為替差損	11,904	-
その他	3,930	4,989
営業外費用合計	31,400	18,202
経常損失()	35,949	10,213
特別利益		
固定資産売却益	24	-
ゴルフ会員権売却益	-	85
特別利益合計	24	85
特別損失		
減損損失	4,210	-
固定資産処分損	3	354
投資有価証券売却損	-	12,295
事業構造改善費用	6,865	1,022
特別損失合計	11,078	13,672
税金等調整前四半期純損失()	47,004	23,800
法人税等	185	3,404
少数株主損益調整前四半期純損失()	47,190	27,205
四半期純損失()	47,190	27,205

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	47,190	27,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	664	1,994
繰延ヘッジ損益	256	178
為替換算調整勘定	4,400	34,295
その他の包括利益合計	3,479	32,122
四半期包括利益	43,710	4,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,710	4,916

【会計方針の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
1 受取手形割引高は145,109千円であります。 2 連結会計年度末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。 なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高から除かれております。 受取手形 24,383千円 支払手形 277,292千円	1 受取手形割引高は247,487千円であります。 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。 なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高から除かれております。 受取手形 9,880千円 支払手形 229,254千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	61,096千円	29,023千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,815,556	459,796	3,275,352		3,275,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,624	10	21,634	21,634	
計	2,837,180	459,806	3,296,986	21,634	3,275,352
セグメント利益又は セグメント損失()	5,202	15,123	9,920		9,920

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,963,692	380,633	3,344,325		3,344,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,942	179	15,121	15,121	
計	2,978,634	380,812	3,359,447	15,121	3,344,325
セグメント利益又は セグメント損失()	6,167	6,148	19		19

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	4円69銭	2円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失()(千円)	47,190	27,205
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	47,190	27,205
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,051	10,051

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月14日

ヤマト・インダストリー株式会社

取締役会 御中

監査法人不二会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 栗田尚宜 印

業務執行社員 公認会計士 川本弘文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヤマト・インダストリー株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ヤマト・インダストリー株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。